

アトムで過ごす毎日が子ども達の心のねっこになりますように

田丸 あけみ

2018年度も残す所、一か月となりました。

5歳児の子ども達は、4月から新一年生になります。そして、在園の子ども達も一つクラスが大きくなります。子ども達自身も大きくなる事が嬉しいようで、「もうすぐ〇〇組やねん」と、満面の笑みで教えにきてくれます。みんなこの一年で心も体も大きくなりましたね。

私が好きな“こころのねっこ”という歌の歌詞です。

『♪いつのまにか 大きくなった いつのまにか 泣かなくなった いつのまにか こげなくなった
いろいろできるようになった はじめてのであい はじめての仲間 はじめて知った たくさんのこと
泣いて笑った 毎日が みんなのこころのばねになった
いちにちいちにち 大きくなった いちにちいちにち 強くなった いちにちいちにち じょうぶになった
いっぱい思い出になった これからの出会い これからの仲間 これからわかる たくさんのこと ここ
で過ごした 毎日が みんなのこころのねっこになれ
はじめてのであい はじめての仲間 はじめて知った たくさんのこと ここで過ごした 毎日が
みんなのこころのねっこになれ♪』

子ども達がこれからもすすくと大きくなりますように…。

この場をお借りして、私の事を少しお話しさせていただきます。

数年前から義母は体調が悪く、義父が義母の世話をしていたのですが、義父も年を重ねる事に体調が優れなくなり、昼から義父も横になっている事が多くなってきました。その姿を見ながら、私はこれ以上義父に義母を任せきりに出来ないと思ひ始めていました。そして、そんな矢先、義母が脳出血で倒れました。

私は、園長としての重責と一緒に背負いきれない難問に、家庭をとるのか仕事をとるのか、本当に何か月も悩みました。

我が娘が幼い頃は、義父や義母に熱のある娘を看病してもらおうという事が何度もあり、助けてもらいながら、私は、今日まで仕事を続ける事がきました。

たくさん悩みましたが、今まで助けてもらった私が、今度は義父母に微々たる力ですが、出来る事をしようと決めました。そして、園長と介護の両方を全うする事は困難だと判断し、今年度ももちまして、私は園長を退く事を決断致しました。

この5年間、頼りない私が園長だった事で、至らぬ点が多々ありました事をお許してください。

私は、保護者の方々にたくさん助けて頂きながら、5年間園長を続ける事が出来ました。保護者の皆さんには、感謝の思いで本当にいっぱいです。

特にこの5年間の中で一番印象深く残っているのが、世代交代と同時期に訪れた園舎の建て替えでした。

当時、私は園長一年目で、不安と恐怖に押しつぶされそうになっていたのですがいつも、私に声をかけてくれ、笑い飛ばしてくれたり、一緒に様々な事を考え力になってくれました。私は、そんな保護者の存在にどれほど助けられた事か。本当にありがたかったです。

園長田丸あけみの5年間を支えて頂き本当にありがとうございました。

園長は交代しますが、自分の出来る範囲でアトムの一員として仕事は続けていきますので、引き続きよろしくお願ひ致します。

来年度から、野中が次期園長として就任します。どうぞ、新園長 野中泉をよろしくお願ひ致します。

最後に、今年度は様々な事がありました。嬉しい事もありましたが、辛く悲しい現実もありました。子ども達が毎日元気でアトムに通う事は当たり前ではないという事を教えてもらえた一年でもありました。何気ない日常を大切に思いながら、また訪れる春を迎えたいと思います。一年間ありがとうございました。